

2017年度（平成29年度）
JPO派遣候補者選考試験
よくあるご質問（FAQ）

2017年2月8日
外務省 国際機関人事センター

【職歴・学歴】

質問1 ボランティアは職歴とみなさないとのことですが、国連ボランティア（UN Volunteer）、青年海外協力隊（Japan Overseas Cooperation Volunteers）は職歴とみなされますか。

回答1 はい。

職歴とみなされます。ボランティアは一般に職歴とみなしておりませんが、国連ボランティア及び青年海外協力隊は、ボランティアの名称であるものの、職務の内容に鑑みフルタイム勤務と同等とみなし、職歴に加算します。

質問2 私は修士課程に在学中で、2017年中には課程を修了します。学歴要件を満たしますか。

回答2 すでに修士号をお持ちの方が、2017年9月末までに修士号を取得できる方であれば学歴要件を満たします。（9月末の時点で、課程を修了しただけでなく、修士号を取得済であることが必要です。）

質問3 私は日本の6年制医学部を卒業しました。修士号相当とみなされますか。

回答3 はい。

日本の6年制の医学部、歯学部、薬学部、獣医学部を卒業した方は修士号相当とみなし、JPO試験の応募資格を認めます。ただし、外務省側で実施するJPO試験とは別途、国際機関側の審査があります。国際機関側が学歴について異なる判断を行う場合がありますので、ご了承ください。

質問4 博士課程は職歴に算入されますか。博士課程修了者は職歴がなくともJPO試験に応募できますか。

回答4 いいえ。

JPO試験においては、博士課程を職歴に算入していません。博士課程とは別途、2年間の職歴が必要となります。博士課程に在籍しながら2年間以上フルタイムでの勤務を続けている場合は、応募資格があります。

質問5 国際機関の求人広告を調べると、学士号のみでも応募できるポストがあります。JPO試験は学士号のみでは応募できないのですか。

回答5 できません。

国際機関のポストによっては、学士号+職歴4年といった形で学士号での応募を認めている場合がありますが、多くのポストでは修士号が必要となります。JPO派遣制度は国際機関で将来にわたりキャリアを形成いただくことを目的としていますので、応募に当たり修士号を必須要件としています。

【言語】

質問6 TOEFLテストとIELTSのどちらが有利ということはありませんか。

回答6 TOEFLテスト又はIELTSのいずれかが有利又は不利になることはありません。

質問7 TOEFLテストとIELTSで必要な点数を教えてください。いわゆる「足きり」は行っていますか。

回答7 必要点数は定めていません。「足きり」も行っていないです。

質問8 昨年度（2016年度）JPO試験最終合格者のTOEFLテストとIELTSの平均点を教えてください。

回答8 2016年度JPO試験最終合格者のうち、TOEFLテストで受験された方のスコアは平均103.7点、IELTSで受験された方のスコアは平均7.2点でした。

質問9 TOEFLテスト、IELTSの受験が間に合いません。JPO試験には英語のスコアなしで応募し、応募締切日（5月8日）以降、TOEFLテスト又はIELTSのスコアを追加提出することでよいですか。

回答9 いいえ。

追加提出は受け付けていません。応募者の方には、必要な全ての書類（和文応募用紙、英文応募用紙、TOEFLテスト/IELTSのスコア、（任意で）他の語学検定スコア）を一括して、応募締切日時までに送付していただきます。テスト会場が満員で試験を予約できないといった事情は考慮できませんので、ご了承ください。

質問 10 私は TOEFL テストも IELTS も受験したことがありませんが、海外在住歴が長く、英語能力には自信があります。英語のスコアなしで応募できますか。

回答 10 いいえ。

書類審査では、全ての応募者の方の英語能力を客観的に審査するため、TOEFL テスト又は IELTS のスコアを必須としています。TOEFL テスト又は IELTS の受験をお願いします。

質問 11 私の TOEFL スコアは失効していますが、米国の大学院を卒業したので、英語能力には自信があります。英語のスコアなしで応募できますか。

回答 11 いいえ。

書類審査では、全ての応募者の方の英語能力を客観的に審査するため、TOEFL テスト又は IELTS のスコアを必須としています。TOEFL テスト又は IELTS の受験をお願いします。

質問 12 私は日本語がネイティブではありませんが、JPO 試験に応募できますか。

回答 12 はい。

英語で職務遂行可能で他の応募資格を満たしていれば、応募いただけます。ただし、和文応募用紙は必ず提出いただきます。また、外務省国際機関人事センターから受験者の方々へのご案内の配信は、基本的に日本語となります。

【年齢】

質問 13 昨年度（2016年度）JPO 試験最終合格者の平均年齢を教えてください。

回答 13 31 歳です。合格者の最低年齢は 27 歳、最高年齢は 35 歳です（すべて 2016 年 4 月 1 日時点）。

質問 14 私の志望する国際機関のウェブサイトを見たところ、JPO の応募年齢は 32 歳までと書いてありました。33～35 歳でも応募できますか。

回答 14 はい。

外務省国際機関人事センターの主催する JPO 試験は、応募年齢を 35 歳まで（2017 年 4 月 1 日時点）としています。ただし、JPO 試験合格後に別途国際機関側の審査があり、最終的な採用の適否は国際機関側によって判断されます。

【勤務地】

質問 15 和文応募用紙の「勤務地に関する制約」欄に制約がある旨記入すると、選考で不利になりますか。

回答 15 いいえ。

本欄は選考を不利にするための質問ではなく、外務省国際機関人事センターがあなたの配属を考慮するためにお伺いするものです。ご家庭の事情や健康上の理由などにより勤務が困難な地域がある場合は、正確にご記入ください。

【その他】

質問 16 JPO試験の「合格」は「採用」と同じですか。

回答 16 いいえ。

「合格＝採用」ではありません。採用されるためには、外務省との所要のやりとりを経て、国際機関の審査（面接）などを受ける必要があります。

（了）